

2021

# コースガイド

染織コース（新カリキュラム）



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

本コースでは次の目標を掲げてカリキュラムを組み立てています。

#### ■染織を通して人間を知る

染織はもともと人が生きるために必要な工夫の集大成です。身にまとう、住まう、美しく装う、祈る……様々な目的で布が織られ多様な方法で染められてきました。生活の中の布や身近な染料を知ることによって人と染織との関わりを考えます。地球上のどこに行っても染織の技術があり、また先史時代の技から現代の最新技術まで幅広く知ることは人間を知ることには他なりません。

#### ■染織を通して自分を知る

作品を制作することは自分に対する問いかけです。何のために何をつくりたいのか。なぜ染織を選んだのか。作品を制作し続けることで自分の中に眠っている才能を掘り起こします。どんなことに能力を発揮できるのかを探す挑戦です。

#### ■染織を通して社会と自分との関わりを考える

人間を知り自分を知り、そして自分の能力を発揮することでどんな活躍ができるのか考えます。作品を発表する方法は作品の本質と不可分です。作品のあり方とともに発表の方法を考えます。作品を売ることもまた一つのあり方です。技法をさらに深く研究することや人に教えることも一つの生き方でしょう。卒業後の活躍を思い描き、羽ばたくための土台を築きましょう。

## 目次

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって	2
2. [在学生のみなさんへ] 2021年度からの変更事項と注意事項	5
3. 学習を進めるにあたって	6
4. 専門教育科目一覧	7
5. 卒業制作着手要件・卒業要件	8
6. カリキュラムマップ	10
7. 履修条件図	12
8. スクーリング日程・スクーリングコード一覧	14
9. 履修モデル	18
10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)	21
11. 専門演習スクーリング科目 (S)	22
12. 染織コース学習道具の紹介	24

## コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。入学許可後は、『学習ガイド』やシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

# 1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるとにあって

## 1. 新入生ガイダンスやガイダンス動画を活用しよう

「新入生ガイダンス」(4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催。)に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を進めましょう。

## 2. 「履修モデル」を参考に履修計画を立てよう

お手元の「入学許可証・卒業要件通知」で卒業要件を確認しましょう。

次に何年かけて卒業するかを考えてみましょう。テキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのこと念頭におきながら、卒業までの履修計画を作成されることをお勧めします。

卒業する為には、コース専門教育科目だけではなく、学部共通専門教育科目等の履修が必要です。

本書pp.18~20の「履修モデル」は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。学習用Webサイト「airUマイページ」でシラバスの閲覧、履修プランの作成ができます。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

## 3. スクーリングを申し込もう

スクーリングは申し込みが必要です。まずは1年次科目を申し込みましょう。入学年度は5月以降に開講されるスクーリングから受講可能です。『airU学習ガイド』>3. 履修・学習>スクーリング科目 (S) >スクーリング申込スケジュールを確認のうえ、airUマイページにて、申込手続きを行いましょう。

## 4. 卒業へ向けて「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」(▶p.8参照)を満たしていることが必要となります。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

1年次入学生の場合 : 2023年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

3年次編入学生の場合 : 2021年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

## 5. 3年次編入学生(卒業要件62単位以上・専門52単位以上) [異分野] の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。ただし科目によっては履修の前提条件がある場合がありますし、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。事情が許すならば2年間という期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

## 6. 学習支援を利用しよう

### ● 学習に関する質問 (▶『学習ガイド2021』pp.120~124参照)

自宅学習で困ったことや迷うことがあったら、コンシェルジュ・メール・FAX・郵送いずれかの方法で質問して下さい。課題や学習に関しての相談など、本学では常時受け付けています。

### ● 研究室からのお知らせについて

#### airUお知らせ

学習に関する大切な連絡事項はairUマイページのお知らせにも随時掲載しています。定期的にご確認ください。

#### 『雲母』(きらら)

年8回発行・送付する通信教育部の補助教材です。学習を進める上で重要な連絡事項を掲載しています。

#### 研究室ブログ

学習に役立つ情報や染織研究室のスタッフで運営しているブログを公開していますので、ぜひ一度アクセスしてみてください。

京都芸術大学通信教育部染織ブログ URL <http://tsuushinsensyoku.blogspot.jp/>

# 「airU (エア・ユー) マイページ」の使い方

airUマイページは本学通信教育部独自の学習用Webサイトです。学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えています。シラバス等の閲覧はもちろん、成績の確認も行えます。通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。（airUマイページでできることの詳細は『学習ガイド2021』pp.15～16参照）問題なくairUを利用するには、システムの要件を満たしている必要があります。（▶airUシステム要件の詳細は『学習ガイド2021』p.94参照）

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。 QRコード：airUマイページ  
airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

検索 airU 京都芸術大学 ログイン



## airU マイページを使ってみよう

airU マイページにログインすると、以下のような画面が表示されます。各種パネルの使い方については、「airU 学習ガイド」の「1. まずはじめに」をあわせて確認しましょう。ここでは、染織コースでよく使うであろう機能をご紹介します。

**カリキュラム一覧 (シラバス)**  
各科目の『シラバス』(科目概要や評価基準、課題の内容など)を確認することができます。

**コンシェルジュ**  
不明点などはここから問合せ。

**airU 学習ガイド**  
airU マイページで学習するうえで必要な情報が掲載されています。

**教材 BOX**  
染織コースでの各科目共通の資料や入学ガイダンス資料を確認できます。

**お知らせ**  
事務局や染織研究室からのお知らせが確認できます。まめに確認しましょう。

## airUシラバス、動画教材や参考作品を閲覧してみよう



染織コースでは、コース専門教育科目の学習をサポートするべく動画教材や参考作品を充実させています。これらは、airU マイページ内にある airUシラバスから閲覧可能ですので、必ずアクセスして活用してください。

①「カリキュラム一覧 (シラバス)」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から、確認したい科目をクリックして選択してください。airU シラバスが閲覧できます。

**コース専門教育科目**  
染織コースのテキスト科目、スクーリング科目を確認することができます。

区分	科目名	単位数	開講状況	状況
TW	染織実践1-1	2	通年	未履修
TW	染織実践1-2	2	通年	未履修
S	染織1-1 習字の基礎	1	通年	未履修

②カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から確認したい科目をクリックすると、以下のような画面が表示されます。ここではテキスト科目「染織演習 I-1」をクリックしてみました。

画面の上部には、その科目の内容が左から項目ごとに学習の流れに沿って表示されていますので、すべてをよく確認しながら課題に取り組んでください。テキスト科目の動画教材や参考作品を閲覧したい場合は、その中にある「テキスト・教材学習」をクリックしてください。

※スクーリング科目の場合は、「事前課題」をクリックしてください。表示される画面の基本的な構造は同じですが、スクーリング科目の動画教材や参考作品は「事前課題」から確認できます。



### テキスト・教材学習

動画教材や参考作品を確認することができます。  
テキスト科目には作品第1課題と作品第2課題があるので、各課題ごとに確認してください。

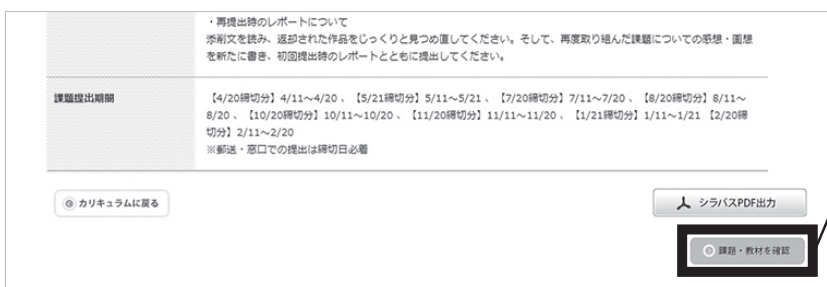
③「テキスト・教材学習」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。画面の上部に「1」、「2」…と表示される場合には、複数ページに分けられて課題の動画教材や参考作品が収められていますので、すべてをよく確認して課題に取り組んでください。画面下にスクロールしていくと、動画教材や参考作品が一覧になって表示されます。閲覧したいものを一つずつクリックしてください。



複数ページに分けられて動画教材や参考作品が収められている場合があります。「1」から順にクリックし、選択してください。

一つずつクリックして閲覧してください。

④配当年次に達していない科目、および受講許可がでていないスクーリング科目の場合は公開されません。ただし、科目により一部の動画教材や参考作品は、画面右下の「課題・教材を確認」をクリックすると閲覧可能になる場合があります。



### 課題・教材を確認

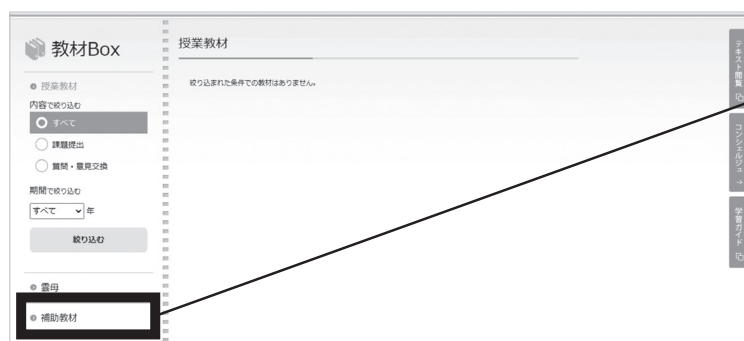
資料を確認したいが画面に表示されないという場合には、このオレンジ色のアイコンをクリックしてみてください。



## 教材BOXを使ってみよう



教材についての資料や申込書など、各科目に共通の資料はairUマイページ内にある「教材BOX」に収められています。その中の「補助教材」から閲覧したいものをクリックし、ダウンロードしてください。新入生ガイダンス資料も閲覧できます。



### 補助教材

クリックすると、染織コースでの各科目共通の資料や入学ガイダンス資料が表示されます。



一つずつクリックして閲覧してください。ダウンロードできる資料は大切に保存しておきましょう。いつでもすぐに確認ができます。

## 2. [在学生のみなさんへ] 2021年度からの変更事項と注意事項

### 1. 3年次スクーリング科目7単位以上の履修について

本制度は2021年度より廃止になりました。専門教育科目の3年次スクーリング科目は6単位上限となります。

### 2. 閉講科目（スクーリング）

「染織V-5（沖縄産地研究）」が閉講になります。3年次スクーリング科目履修の場合は「染織V-1~4」から2科目選択の他、「染織V-7、8、15」から2科目選択するようにしてください。

### 3. スクーリング科目の遠隔化について

以下のスクーリング科目は、複数日程のうち1日程が遠隔授業になります。

「染織Ⅲ-1」3日程のうち1日程

「染織Ⅳ-1」3日程のうち1日程

### 4. スクーリング科目名の表記について

これまで、日程順で「科目名」+a、b、cで表記していましたが、2021年度より、京都開講はK・東京開講はTとし、「科目名」+KまたはTで表記します。日程順にK1、K2となります。また遠隔スクーリング科目は「科目名」+Eで表記します。

(例)

「染織Ⅳ-1（緋の基本を知る）」K1 京都開講

「染織Ⅳ-1（緋の基本を知る）」K2 京都開講

「染織Ⅳ-1（緋の基本を知る）」E 遠隔（zoomオンライン）開講

### 5. 遠隔化にかかわるサポートについて

airUマイページやZoom等の基本的な利用方法については、ガイダンスや資料等を準備しています。随時airUマイページ「お知らせ」で周知していきますのでご確認ください。なお総合教育科目に「オンライン授業入門」を開講していますが、これまでにパソコンやインターネットを利用したことがない方に向けた内容になっています。ガイダンス資料等と重複する内容も多いことをあらかじめご了承ください。

# 3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

## 1. 履修形態

▶『学習ガイド』pp.11～13参照

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

## 2. 履修期間・課題提出期間

▶『学習ガイド』p.11、pp.32～64参照

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～31		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～21	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2022年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12～(開講30～5 日前)		夏期追加募集 10～(開講30～5 日前)		秋期追加募集 10～(開講30～5 日前)		冬期追加募集 10～(開講30～5 日前)					
GS	藝術学舎科目		夏季申込 5月初旬～			秋季申込 8月初旬～			冬季申込 11月初旬～			2022年度 春季申込 2月中旬～	

●対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間は『学習ガイド』pp.41～42を参照してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。

詳細は『学習ガイド』p.68を確認してください。

※東京オリンピック・パラリンピック開催期間中は、一部地域において郵便・配達等の遅れが生じる場合があります。

## 3. 課題提出方法

▶『学習ガイド』pp.33～36参照

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

## 4. 単位修得試験

▶『学習ガイド』pp.40～45参照

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）と対面（京都・東京）で受験できます。なお、レポート課題提出形態によって、受験方法が異なり、airUマイページでレポートを提出した場合はWeb受験、郵送・窓口でレポートを提出した場合はWebまたは対面どちらかで受験します。

## 5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

▶『学習ガイド』pp.49～56参照

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページまたは郵送・窓口より手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

## 6. 藝術学舎科目

▶『学習ガイド』p.65参照

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関しては『学習ガイド』pp.70～72を確認してください。



# 4. 専門教育科目一覧

科目一覧					卒業要件(注1)					配当年次 (注2)		
科目群	科目区分	科目コード	科目名	単位数	S/T	新カリキュラム(2014年度以降入学)						
						2020年度以降入学		2019年度以前入学				
						1年次入学	3年次編入学	1年次入学	3年次編入学			
						124単位以上 (S科目30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上) [異分野]	124単位以上 (S科目30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上) [異分野]	62単位以上 (専門32単位以上) [同分野] (注4)		
学部共通専門教育科目 (注3)		40501	造形基礎演習1	2	TW			●	●	●	1年次～	
		40502	造形基礎演習2	2	TW			●	●	●		
合計						20単位以上	12単位以上	20単位以上	12単位以上	12単位以上		
専門教育科目	コース専門演習T科目	65612	染織演習I-1	2	TW	●	●	●	●	-	1年次～	
		65613	染織演習I-2	2	TW	●	●	●	●	-		
		65614	染織演習II-1	2	TW	●	●	●	●	-	2年次～	
		65615	染織演習II-2	2	TW	●	●	●	●	-		
		65616	染織演習III-1	2	TW	●	●	●	●	●	3年次～	
		65617	染織演習III-2	2	TW	●	●	●	●	●		
		65618	染織演習IV	4	TX	●	●	●	●	●	4年次	
		合計						16単位	16単位	16単位	16単位	8単位
	コース専門演習S科目		65117	染織I-1(描写の基礎)	1	S	●	●	●	●	-	1年次～
			65118	染織I-2(藍色絞りの浴衣をデザインする)	1	S	●	●	●	●	-	
			65119	染織I-3(藍色絞りの浴衣を染める)	1	S	●	●	●	●	-	
			65120	染織II-1(染色実験)	1	S	●	●	●	●	-	
			65121	染織II-2(織物の基本を知る)	1	S	●	●	●	●	-	
			65122	染織II-3(織物の構造を知る)	1	S	●	●	●	●	-	2年次～
			65123	染織III-1(色彩を知る)	1	S	●	●	●	●	-	
			65124	染織III-2(型染のハンカチと誕生日のカレンダーをデザインする)	1	S	●	●	●	●	-	
			65125	染織III-3(型染のハンカチと誕生日のカレンダーを染める)	1	S	●	●	●	●	-	
			65126	染織IV-1(緋の基本を知る)	1	S	●	●	●	●	-	3年次～
			65127	染織IV-2(緋の工程を知る)	1	S	●	●	●	●	-	
			65128	染織IV-3(緋の布を織る)	1	S	●	●	●	●	-	
			65129	染織V-1(蠟染)	2	S	染織V-1～4から2科目選択必修					
			65130	染織V-2(友禪のふくさを染める)	2	S						
			65131	染織V-3(綴織の壁掛を織る)	2	S						
			65132	染織V-4(絹を知る)	2	S						
				染織V-5(沖繩産地研究) ※2020年度まで開講	1	S	染織V-7・8・15から2科目選択必修 (2020年度以前入学生は染織V-5～15から2科目選択必修)					
				染織V-6(繊維素材の立体造形) ※2018年度まで開講	1	S						
			65135	染織V-7(フェルトメイキング)	1	S						
	65136	染織V-8(スクリーンプリントの手ぬぐいを染める)	1	S								
	65137	染織V-15(絹を織る)	1	S						4年次		
	65191	卒業制作	6	S	●	●	●	●	●			
合計						24単位	24単位	24単位	24単位	12単位以上		
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択。											
総合計						124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上			

※TW: テキスト科目、TX: テキスト特別科目、S: スクーリング科目、●: 必修科目

(注1) 2年次編入学の必修科目は、3年次編入学(専門52単位以上)[異分野]と同じです。ただし、総単位数は84単位以上となります。

(注2) 配当年次: 履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修できません。さらに、科目に別途、履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

(注3) 学部共通専門教育科目の科目は、『学習ガイド2021』等でご確認ください。

(注4) 3年次編入学同分野は2016年度入学生までが対象となる入学区分です。

# 5. 卒業制作着手要件・卒業要件

## 1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」（下記【1】）を満たせば卒業年度前半のスクーリング「卒業制作（前期）」が受講でき、秋期スクーリング申込の所定の時期（次項【3】）までに「卒業制作（後期）」の履修の前提条件」（下記【2】）を満たせば「卒業制作（後期）」が受講できます。受講申込時期は「卒業制作（前期）」が春期、「卒業制作（後期）」が秋期（次項【3】）です。

- ・「卒業制作（後期）」の履修の前提条件」を卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくこと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに前提条件を満たすことをお勧めします。
- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2021年度卒業予定者のスケジュール等は『学習ガイド2021』pp.68～69「10.卒業判定」を参照してください。

### 【1】卒業制作着手要件

入学区分（卒業要件）	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「染織演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「染織Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること（休学期間を除く）
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) 〔異分野〕	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「染織演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「染織Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること（休学期間を除く）
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) 〔同分野〕	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	-	
	コース専門演習S科目	-	
	その他	(注1)	
	合計	28単位以上	1年以上在籍していること（休学期間を除く）

(注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

※2年次編入学生（卒業要件84単位以上）の卒業制作着手要件は、3年次編入学生（62単位以上・専門52単位以上）と同じです。ただし合計が50単位以上あること、2年以上在学していること（休学期間を除く）が必要です。

### 【2】卒業制作後期履修の前提条件

入学区分	科目群	科 目
全て	コース専門演習T科目	「染織演習Ⅲ-1」を合格済み 「染織演習Ⅲ-2」を合格済み
	コース専門演習S科目	「染織Ⅴ-1～15」から4単位以上を合格済み 「卒業制作(前期)」履修中であること

### 【3】「卒業制作（後期）」受講申込時期と履修の前提条件の合格時期

「卒業制作（前期）」を受講し、【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作（後期）」が申込できます。本科目の「追加募集」に定員はありません。

スクーリング開催回		申込時期	テキスト課題の合格	スクーリングの合格	
			染織演習Ⅲ-1 染織演習Ⅲ-2	染織Ⅴ-1～15から 4単位以上	卒業制作 前期
秋期 (10～12月開講)	先行募集	8/17～8/25【必着】	7月度(7/20【必着】)までに 提出の課題が合格済み	7月末までに合格済み	履修中
	追加募集	9/10～10/4【必着】	8月度(8/20【必着】)までに 提出の課題が合格済み	9月末までに合格済み	

## 2. 卒業要件 について

2021年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「染織演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月度の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「染織演習Ⅳ」（4単位）とスクーリング科目「卒業制作」（6単位）を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

### 【4】 卒業要件

入学区分(卒業要件)(注3)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	2019年度以前の方は「造形基礎演習1・2」必修 2020年度以降入学の方は必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位	「染織演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「染織Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」(注2) が必修
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) 〔異分野〕	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	2019年度以前の方は「造形基礎演習1・2」必修 2020年度以降入学の方は必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位	「染織演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「染織Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」(注2) が必修
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) 〔同分野〕	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	2019年度以前の方は「造形基礎演習1・2」必修 2020年度以降入学の方は必修の指定なし
	コース専門演習T科目	8単位以上	「染織演習Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「染織Ⅴ」「卒業制作」必修
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

(注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

(注2)「染織Ⅴ」の履修については4. コース専門教育科目一覧（本書p.7）参照。

(注3) 2年次編入学生（卒業要件84単位以上）の卒業要件は、3年次編入学（62単位以上・専門52単位以上）〔異分野〕と同じです。ただし、3年以上在学していること（休学期間を除く）。

※編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

# 6. カリキュラムマップ

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系的な俯瞰できる図です。履修計画の参考にしてください。

## カリキュラムの内容と関連性

1年次

- ・生活の中の布や身近な染料を知り、人と染織との関わりを考える
- ・物を見て描く方法、基本的な染、織の方法を知り作る楽しさを実感

2年次

- ・染技法、織技法の発展の歴史を知り、装うことや生活を彩ることに込める人の心を考える
- ・色彩や構成を理論的に学び、作品制作の基礎とする

<p><b>基礎的な造形能力</b> 見る、描く、表現する</p>	<p><b>TW</b> 染織演習Ⅰ-2 <b>必</b> 第1課題（描写—植物を描く）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅰ-1 <b>必</b>（描写の基礎）</p>	
<p><b>染織の基礎知識を身につける</b> 繊維を知る、染料を知る、色を知る</p>	<p><b>TW</b> 染織演習Ⅰ-1 <b>必</b> 第1課題（植物染料の色を知る）</p> <p><b>TW</b> 染織演習Ⅰ-1 <b>必</b> 第2課題（テキスタイルリサーチ）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅱ-1 <b>必</b>（染色実験）</p>	<p><b>S</b> 染織Ⅲ-1 <b>必</b>（色彩を知る）</p>
<p><b>技法を理解して構想する</b> デザインする</p>	<p><b>S</b> 染織Ⅰ-2 <b>必</b>（藍色絞りの浴衣をデザインする）</p>	<p><b>TW</b> 染織演習Ⅱ-1 <b>必</b> 第1課題（幾何形態のステンシル）</p> <p><b>TW</b> 染織演習Ⅱ-1 <b>必</b> 第2課題（連続するプリント図案）</p> <p><b>TW</b> 染織演習Ⅱ-2 <b>必</b> 第1課題（花からの色彩構成）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅳ-1 <b>必</b>（紺の基本を知る）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅲ-2 <b>必</b>（型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅳ-2 <b>必</b>（紺の工程を知る）</p>
<p><b>染める技法を知る</b> 技法の習得と実践</p>	<p><b>TW</b> 染織演習Ⅰ-2 <b>必</b> 第2課題（絞り染小作品）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅰ-3 <b>必</b>（藍色絞りの浴衣を染める）</p>	<p><b>S</b> 染織Ⅲ-3 <b>必</b>（型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める）</p>
<p><b>織る技法を知る</b> 技法の習得と実践</p>	<p><b>S</b> 染織Ⅱ-2 <b>必</b>（織物の基本を知る）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅱ-3 <b>必</b>（織物の構造を知る）</p>	<p><b>TW</b> 染織演習Ⅱ-2 <b>必</b> 第2課題（緯織）</p> <p><b>S</b> 染織Ⅳ-3 <b>必</b>（紺の布を織る）</p>
<p><b>調査、研究</b> 情報の収集、分析、記述</p>		
<p><b>総合力</b> 応用、発展</p>		
<p><b>プレゼンテーション能力</b> 履歴をまとめ伝える</p>		

3年次

- ・染技法または織技法を深め、表現力をつける
- ・自分と染織との関わりを考える

4年次

- ・自分にとっての染、織をかたちにする
- ・染織を通して社会と関わっていく方法を考える

TW 染織演習Ⅲ-1  
必 第1課題（下図を描く）

S 染織V-1  
選 （蠟染）

S 染織V-2  
選 （友禅のふくさを染める）

S 染織V-8  
選 （スクリーンプリントの手ぬぐいを染める）

S 染織V-3  
選 （綴織の壁掛を織る）

S 染織V-4  
選 （絹を知る）

S 染織V-15  
選 （絹を織る）

TW 染織演習Ⅲ-2  
必 第2課題（染織産地研究）

TW 染織演習Ⅲ-1  
必 第2課題（自由作品）

TW 染織演習Ⅲ-2  
必 第1課題（立体小作品）

S 染織V-7  
選 （フェルトメイキング）

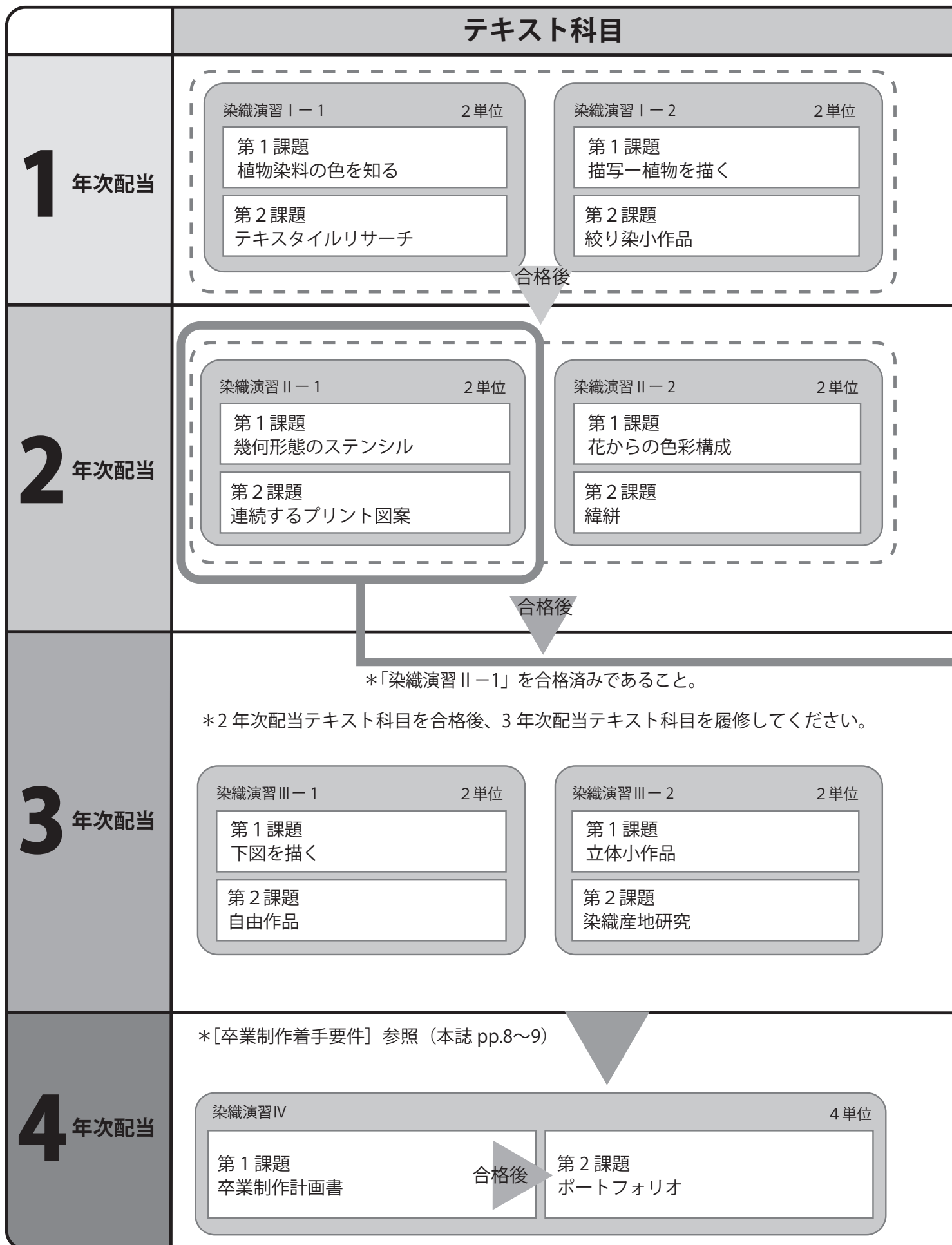
TX 染織演習Ⅳ  
必 第1課題（卒業制作計画書）

S 卒業制作  
必 （前期／後期）

TX 染織演習Ⅳ  
必 第2課題（ポートフォリオ）



# 7. 履修条件図



## スクーリング科目

### 表現方法の基礎

染織Ⅰ-1 2日間 1単位  
描写の基礎

染織Ⅱ-1 2日間 1単位  
染色実験

### 染技法の基礎

染織Ⅰ-2 2日間 1単位  
藍色絞りの浴衣をデザインする

染織Ⅰ-3 2日間 1単位  
藍色絞りの浴衣を染める

### 織技法の基礎

染織Ⅱ-2 2日間 1単位  
織物の基本を知る

染織Ⅱ-3 2日間 1単位  
織物の構造を知る

1  
年  
次

### 表現方法の基礎

染織Ⅲ-1 2日間 1単位  
色彩を知る

### 染技法の基礎

染織Ⅲ-2 2日間 1単位  
型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする

染織Ⅲ-3 2日間 1単位  
型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める

### 織技法の基礎

染織Ⅳ-1 2日間 1単位  
紘の基本を知る

染織Ⅳ-2 2日間 1単位  
紘の工程を知る

染織Ⅳ-3 2日間 1単位  
紘の布を織る

2  
年  
次

### 染による表現を深める

以下から2科目を選択

### 織による表現を深める

染織Ⅴ-1 4日間 2単位  
蠟染

染織Ⅴ-2 4日間 2単位  
友禅のふくさを染める

染織Ⅴ-3 4日間 2単位  
綴織の壁掛を織る

染織Ⅴ-4 4日間 2単位  
絹を知る

\*卒業制作で織の着物に取り組む場合は、  
染織Ⅴ-4、15を受講すること

### 自分の興味を深める

以下から2科目を選択

染織Ⅴ-7 2日間 1単位  
フェルトメイキング

染織Ⅴ-8 2日間 1単位  
スクリーンプリントの手ぬぐいを染める

染織Ⅴ-15 2日間 1単位  
絹を織る

3  
年  
次

卒業制作

6単位

前期制作 6日間

履修の前提条件  
クリア

後期制作 6日間

4  
年  
次

# 8. スクーリング日程・スクーリングコード一覧

配当年次	科目名	スクーリングコード	スクーリング名称	単位	会場	開講日程	申込期
1年次 (6単位)	染織Ⅰ-1	6511701001	染織Ⅰ-1 (描写の基礎) K1	1	京都	5/15(土)~5/16(日)	春期
		6511701002	染織Ⅰ-1 (描写の基礎) K2	1	京都	6/5(土)~6/6(日)	春期
		6511701003	染織Ⅰ-1 (描写の基礎) T	1	東京■	9/11(土)~9/12(日)	夏期
	染織Ⅰ-2	6511801001	染織Ⅰ-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K1	1	京都	6/12(土)~6/13(日)	春期
		6511801002	染織Ⅰ-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K2	1	京都	7/10(土)~7/11(日)	夏期
		6511801003	染織Ⅰ-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K3	1	京都	12/4(土)~12/5(日)	秋期
	染織Ⅰ-3	6511901001	染織Ⅰ-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K1	1	京都	9/4(土)~9/5(日)	夏期
		6511901002	染織Ⅰ-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K2	1	京都	10/9(土)~10/10(日)	秋期
		6511901003	染織Ⅰ-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K3	1	京都	2022/1/8(土)~1/9(日)	冬期
	染織Ⅱ-1	6512001001	染織Ⅱ-1 (染色実験) K1	1	京都	5/22(土)~5/23(日)	春期
		6512001002	染織Ⅱ-1 (染色実験) K2	1	京都	5/29(土)~5/30(日)	春期
		6512001003	染織Ⅱ-1 (染色実験) T	1	東京■	6/12(土)~6/13(日)	春期
	染織Ⅱ-2	6512101001	染織Ⅱ-2 (織物の基本を知る) K1	1	京都	8/7(土)~8/8(日)	夏期
		6512101002	染織Ⅱ-2 (織物の基本を知る) K2	1	京都	8/17(火)~8/18(水)	夏期
		6512101003	染織Ⅱ-2 (織物の基本を知る) K3	1	京都	8/21(土)~8/22(日)	夏期
	染織Ⅱ-3	6512201001	染織Ⅱ-3 (織物の構造を知る) K1	1	京都	8/28(土)~8/29(日)	夏期
		6512201002	染織Ⅱ-3 (織物の構造を知る) K2	1	京都	9/6(月)~9/7(火)	夏期
		6512201003	染織Ⅱ-3 (織物の構造を知る) K3	1	京都	2022/2/19(土)~2/20(日)	冬期
2年次 (6単位)	染織Ⅲ-1	6512301001	染織Ⅲ-1 (色彩を知る) K1	1	京都	9/25(土)~9/26(日)	夏期
		6512301002	染織Ⅲ-1 (色彩を知る) K2	1	京都	10/16(土)~10/17(日)	秋期
		6512301003	染織Ⅲ-1 (色彩を知る) T	1	東京■	11/6(土)~11/7(日)	秋期
	染織Ⅲ-2	6512401001	染織Ⅲ-2 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする) K1	1	京都	4/17(土)~4/18(日)	春期
		6512401002	染織Ⅲ-2 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする) K2	1	京都	11/20(土)~11/21(日)	秋期
		6512401003	染織Ⅲ-2 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする) E	1	遠隔	12/11(土)~12/12(日)	秋期
	染織Ⅲ-3	6512501001	染織Ⅲ-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K1	1	京都	5/8(土)~5/9(日)	春期
		6512501002	染織Ⅲ-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K2	1	京都	2022/2/19(土)~2/20(日)	冬期
		6512501003	染織Ⅲ-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K3	1	京都	2022/2/26(土)~2/27(日)	冬期
	染織Ⅳ-1	6512601001	染織Ⅳ-1 (緋の基本を知る) K1	1	京都	4/24(土)~4/25(日)	春期
		6512601002	染織Ⅳ-1 (緋の基本を知る) K2	1	京都	10/30(土)~10/31(日)	秋期
		6512601003	染織Ⅳ-1 (緋の基本を知る) E	1	遠隔	6/26(土)~6/27(日)	春期
	染織Ⅳ-2	6512701001	染織Ⅳ-2 (緋の工程を知る) K1	1	京都	7/17(土)~7/18(日)	夏期
		6512701002	染織Ⅳ-2 (緋の工程を知る) K2	1	京都	7/24(土)~7/25(日)	夏期
		6512701003	染織Ⅳ-2 (緋の工程を知る) K3	1	京都	11/13(土)~11/14(日)	秋期
	染織Ⅳ-3	6512801001	染織Ⅳ-3 (緋の布を織る) K1	1	京都	9/4(土)~9/5(日)	夏期
		6512801002	染織Ⅳ-3 (緋の布を織る) K2	1	京都	2022/1/22(土)~1/23(日)	冬期
		6512801003	染織Ⅳ-3 (緋の布を織る) K3	1	京都	2022/2/26(土)~2/27(日)	冬期

配当年次	科目名	スクーリングコード	スクーリング名称	単位	会場	開講日程	申込期
3年次 (6単位) ※1	染織V-1	6512901001	染織V-1(蠟染)K1	2	京都	5/22(土)~5/23(日)および6/19(土)~6/20(日)	春期
		6512901002	染織V-1(蠟染)K2	2	京都	7/31(土)~8/1(日)および8/7(土)~8/8(日)	夏期
	染織V-2	6513001001	染織V-2(友禪のふくさを染める)K	2	京都	8/7(土)~8/8(日)および8/28(土)~8/29(日)	夏期
	染織V-3	6513101001	染織V-3(綴織の壁掛を織る)K	2	京都	5/8(土)~5/9(日)および5/29(土)~5/30(日)	春期
	染織V-4	6513201001	染織V-4(絹を知る)K1	2	京都	6/5(土)~6/6(日)および7/10(土)~7/11(日)	春期
		6513201002	染織V-4(絹を知る)K2	2	京都	12/18(土)~12/19(日)および2022/1/8(土)~1/9(日)	秋期
	染織V-7	6513501001	染織V-7(フェルトメイキング)K	1	京都	5/3(月)~5/4(火)	春期
	染織V-8	6513601001	染織V-8(スクリーンプリントの手ぬぐいを染める)K1	1	京都	10/2(土)~10/3(日)	秋期
		6513601002	染織V-8(スクリーンプリントの手ぬぐいを染める)K2	1	京都	10/16(土)~10/17(日)	秋期
	染織V-15	6513701001	染織V-15(絹を織る)K1	1	京都	7/31(土)~8/1(日)	夏期
6513701002		染織V-15(絹を織る)K2	1	京都	2022/1/29(土)~1/30(日)	冬期	
4年次 (6単位) ※2	卒業制作 ※3	6519101001	卒業制作(前期/染)K	3	京都	4/17(土)~4/18(日)および6/12(土)~6/13(日) および8/21(土)~8/22(日)	春期
		6519101002	卒業制作(前期/織)K	3	京都	4/17(土)~4/18(日)および6/12(土)~6/13(日) および8/21(土)~8/22(日)	春期
		6519102001	卒業制作(後期/染)K	3	京都	10/9(土)~10/10(日)および11/20(土)~11/21(日) および2022/1/22(土)~1/23(日)	秋期
		6519102002	卒業制作(後期/織)K	3	京都	10/9(土)~10/10(日)および11/20(土)~11/21(日) および2022/1/22(土)~1/23(日)	秋期

スクーリング科目は先行募集期間までに履修の前提条件を満たせなかった場合、追加募集で申し込むことができます。申込み期間は科目によって異なりますが、卒業制作スクーリングは5日前、その他科目は14~30日前です。ただし、追加募集は先行募集で定員に達した場合は募集を行いません。また、上記期間内であっても定員に達した時点で募集を締め切りますので、ご注意ください。申込み方法等はairU学習ガイド>3.履修・学習>先行募集と追加募集・『学習ガイド2021』のスクーリング追加募集の項目をご確認ください。

※1:3年次の「染織V」の履修は4.コース専門教育科目一覧(本書p.7)参照。

※2:「卒業制作」では、染日程(染技法での制作)・織日程(織技法での制作)のいずれかを選択。なお、前期・後期とも同技法を選択すること。

※3:2021年度春期のスクーリング先行申込開始は3月26日(金)13:00からですが、airUからの「卒業制作」の申込は3月27日(土)13:00以降となります。詳細は『学習ガイド2021』p.51を確認してください。

# 2021年度スクーリング日程表

各申込スケジュールは『学習ガイド 2021』 p.51 をご確認ください

申込期	日程	1年次配当		2年次配当	
		京都	東京	京都	東京
春期 (4・5・6月) 3/26~3/30	4/17(土)~4/18(日)			染織III-2 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする) K1	
	4/24(土)~4/25(日)			染織IV-1 (緋の基本を知る) K1	
	5/3(月)~5/4(火)				
	5/8(土)~5/9(日)			染織III-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K1	
	5/15(土)~5/16(日)	染織I-1 (描写の基礎) K1			
	5/22(土)~5/23(日)	染織II-1 (染色実験) K1			
	5/29(土)~5/30(日)	染織II-1 (染色実験) K2			
	6/5(土)~6/6(日)	染織I-1 (描写の基礎) K2			
	6/12(土)~6/13(日)	染織I-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K1	染織II-1 (染色実験) T		
	6/19(土)~6/20(日)				
6/26(土)~6/27(日)					
夏期 (7・8・9月) 5/17~5/25	7/10(土)~7/11(日)	染織I-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K2			
	7/17(土)~7/18(日)			染織IV-2 (緋の工程を知る) K1	
	7/24(土)~7/25(日)			染織IV-2 (緋の工程を知る) K2	
	7/31(土)~8/1(日)				
	8/7(土)~8/8(日)	染織II-2 (織物の基本を知る) K1			
	8/17(火)~8/18(水)	染織II-2 (織物の基本を知る) K2			
	8/21(土)~8/22(日)	染織II-2 (織物の基本を知る) K3			
	8/28(土)~8/29(日)	染織II-3 (織物の構造を知る) K1			
	9/4(土)~9/5(日)	染織I-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K1		染織IV-3 (緋の布を織る) K1	
	9/6(月)~9/7(火)	染織II-3 (織物の構造を知る) K2			
	9/11(土)~9/12(日)		染織I-1 (描写の基礎) T		
	9/25(土)~9/26(日)			染織III-1 (色彩を知る) K1	
秋期 (10・11・12月) 8/17~8/25	10/2(土)~10/3(日)				
	10/9(土)~10/10(日)	染織I-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K2			
	10/16(土)~10/17(日)			染織III-1 (色彩を知る) K2	
	10/30(土)~10/31(日)			染織IV-1 (緋の基本を知る) K2	
	11/6(土)~11/7(日)				染織III-1 (色彩を知る) T
	11/13(土)~11/14(日)			染織IV-2 (緋の工程を知る) K3	
	11/20(土)~11/21(日)			染織III-2 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする) K2	
	12/4(土)~12/5(日)	染織I-2 (藍色絞りの浴衣をデザインする) K3			
	12/11(土)~12/12(日)				
12/18(土)~12/19(日)					
冬期 (1・2・3月) 11/17~11/25	2022/1/8(土)~1/9(日)	染織I-3 (藍色絞りの浴衣を染める) K3			
	2022/1/22(土)~1/23(日)			染織IV-3 (緋の布を織る) K2	
	2022/1/29(土)~1/30(日)				
	2022/2/19(土)~2/20(日)	染織II-3 (織物の構造を知る) K3		染織III-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K2	
	2022/2/26(土)~2/27(日)			染織III-3 (型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める) K3 染織IV-3 (緋の布を織る) K3	



2年次配当	3年次配当		4年次配当		日程	申込期
	遠隔	京都	東京	染クラス		
				卒業制作(前期) K 染・織合同	4/17(土)～4/18(日)	春期 (4・5・6月) 3/26～3/30
					4/24(土)～4/25(日)	
	染織V-7 (フェルトメイキング) K		airUからの「卒業制作(前期)」の スクーリング先行申込は3月27日(土) 13:00～3月30日(火)13:00の3日間です。		5/3(月)～5/4(火)	
	染織V-3 (綴織の壁掛を織る) K 前半				5/8(土)～5/9(日)	
					5/15(土)～5/16(日)	
	染織V-1(蠟染) K1 前半				5/22(土)～5/23(日)	
	染織V-3 (綴織の壁掛を織る) K 後半				5/29(土)～5/30(日)	
	染織V-4 (絹を知る) K1 前半				6/5(土)～6/6(日)	
				卒業制作(前期) K 染・織合同	6/12(土)～6/13(日)	
	染織V-1(蠟染) K1 後半				6/19(土)～6/20(日)	
染織IV-1(紵の基本を知る) E					6/26(土)～6/27(日)	
	染織V-4(絹を知る) K1 後半				7/10(土)～7/11(日)	夏期 (7・8・9月) 5/17～5/25
					7/17(土)～7/18(日)	
					7/24(土)～7/25(日)	
	染織V-1(蠟染) K2 前半 染織V-15(絹を織る) K1				7/31(土)～8/1(日)	
	染織V-1(蠟染) K2 後半 染織V-2(友禪のふくさを 染める) K 前半				8/7(土)～8/8(日)	
					8/17(火)～8/18(水)	
				卒業制作(前期) K 染・織合同	8/21(土)～8/22(日)	
	染織V-2(友禪のふくさを 染める) K 後半				8/28(土)～8/29(日)	
					9/4(土)～9/5(日)	
					9/6(月)～9/7(火)	
					9/11(土)～9/12(日)	
					9/25(土)～9/26(日)	
	染織V-8(スクリーンプリント の手ぬぐいを染める) K1				10/2(土)～10/3(日)	秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25
				卒業制作(後期) K 染・織合同	10/9(土)～10/10(日)	
	染織V-8(スクリーンプリント の手ぬぐいを染める) K2				10/16(土)～10/17(日)	
					10/30(土)～10/31(日)	
					11/6(土)～11/7(日)	
					11/13(土)～11/14(日)	
				卒業制作(後期) K 染・織合同	11/20(土)～11/21(日)	
					12/4(土)～12/5(日)	
染織III-2 (型染のハンカチと誕生月のカ レンダーをデザインする) E					12/11(土)～12/12(日)	
	染織V-4(絹を知る) K2 前半				12/18(土)～12/19(日)	
	染織V-4(絹を知る) K2 後半				2022/1/8(土)～1/9(日)	冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25
				卒業制作(後期) K 染・織合同	2022/1/22(土)～1/23(日)	
	染織V-15(絹を織る) K2				2022/1/29(土)～1/30(日)	
					2022/2/19(土)～2/20(日)	
					2022/2/26(土)～2/27(日)	

# 9. 履修モデル

## 1年次入学生年間学習モデル

下記表は、1年次入学生（卒業要件124単位以上）が4年間で卒業すると仮定した場合の年間学習モデルです。

全体として、卒業制作に集中できるよう高年次になるに従い修得単位数を少なくするようお勧めします。

履修計画を立てる際は、卒業要件と各科目の開講状況・履修条件等をご確認ください。卒業要件については本誌p.11を、各科目の開講状況・履修条件等についてはシラバスの各科目のページを確認してください。

スクーリング日程は全て京都会場としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。

		1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期				
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合教育科目	ことばと表現	1	TR									レポート		試験					
	色彩と形	2	TR						レポート		試験								
	外国語1	2	TR			レポート		試験											
	入門デッサン1	1	S										2日間						
	自然学への階段	1	S									2日間							
	学芸基礎講義1	1	GS										GS						
専門教育科目	学部共通 専門教育 科目	工芸1	2	TR											レポート		試験		
		美術史(日本)1	2	TR								レポート		試験					
		美術史(日本)2	2	TR											レポート		試験		
		造形基礎演習1	2	TW		●						第1課題							
		造形基礎演習2	2	TW		●							第1課題						
		立体造形演習1	2	TW											第1課題				
		著作権を学ぶ	1	S					2日間										
		学芸専門講義1	1	GS													GS		
	コース 専門演習 T科目	染織演習I-1	2	TW	●	●				第1課題			第2課題						
		染織演習I-2	2	TW	●	●							第1課題		第2課題				
		コース 専門演習 S科目	染織I-1	1	S	●	●		2日間										
			染織I-2	1	S	●	●			2日間									
			染織I-3	1	S	●	●						2日間						
		染織II-1	1	S	●	●		2日間											
染織II-2	1	S	●	●				2日間											
染織II-3	1	S	●	●						2日間									
1年目の修得単位数・内訳		32																	

		2年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2)	必修 選択 (注2)	春期			夏期			秋期			冬期				
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合教育科目	都市デザイン論	2	TR												レポート		試験		
	地域環境論	2	TR			レポート		試験											
	論述基礎	2	TR			レポート		試験											
	経済学	2	TR						レポート		試験								
	文化研究1	2	TR								レポート		試験						
	音楽	2	TR												レポート		試験		
	入門デッサン3	1	S										2日間						
	民俗学への階段	1	S							2日間									
	学芸基礎講義2	1	GS										GS						
専門教育科目	学部共通 専門教育 科目	デザイン論1	2	TR					第1課題		試験								
		デザイン論2	2	TR											第1課題		試験		
		美学概論	2	TR								第1課題		試験					
		色彩表現基礎	2	TW			第1課題												
		芸術史講義(アジア)1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴					
		芸術史講義(アジア)2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴		
	コース 専門演習 T科目	染織演習II-1	2	TX	●	●	第1課題	第2課題											
		染織演習II-2	2	TX	●	●			第1課題	第2課題									
		コース 専門演習 S科目	染織III-1	1	S	●	●					2日間							
			染織III-2	1	S	●	●						2日間						
			染織III-3	1	S	●	●										2日間		
			陶芸IV-1	1	S	●	●		2日間										
			陶芸IV-2	1	S	●	●			2日間									
			陶芸IV-3	1	S	●	●					2日間							
2年目の修得単位数・内訳		37																	

3年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目	日本文化論	2	TR									レポート		試験				
	西洋史	2	TR												レポート		試験	
	生態学	2	TR									レポート		試験				
	地域を探索	2	TR												レポート		試験	
	東北を学ぶ	2	TR						レポート		試験							
	伝統芸術基礎(煎茶)	1	S				2日間											
	伝統芸術基礎(伝統芸能)	1	S												2日間			
	日本史への階段	1	S								2日間							
	学芸基礎講義3	1	GS					GS										
	学芸基礎講義4	1	GS											GS				
学芸基礎講義5	1	GS														GS		
専門教育科目	学部共通 専門教育 科目	美術史(ヨーロッパ)1	2	TR			レポート		試験									
	美術史(ヨーロッパ)2	2	TR					レポート		試験								
	美術史(アジア)1	2	TR				レポート		試験									
	美術史(アジア)2	2	TR												レポート		試験	
	コース 専門演習 T科目	染織演習Ⅲ-1	2	TW	●	●				第1課題			第2課題					
		染織演習Ⅲ-2	2	TW	●	●				第1課題			第2課題					
	コース 専門演習 S科目	染織V-1	2	S	○	○		2日間	2日間									
		染織V-2	2	S	○	○					2日間×2							
染織V-7		1	S	○	○		2日間											
染織V-8		1	S	○	○							2日間						
3年目の修得単位数・内訳		34	※翌年度、卒業制作に着手するためには、着手要件を満たす必要があります。															

4年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注3)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	京都を学ぶ	2	TR						レポート		試験						卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。
	文化研究2	2	TR						レポート		試験						
	文学研究への階段	1	S									2日間					
	都市環境への階段	1	S				2日間										
	学芸基礎講義6	1	GS				GS										
	学芸基礎講義7	1	GS							GS							
	学芸基礎講義8	1	GS									GS					
学芸基礎講義9	1	GS											GS				
専門教育科目	学部共通 専門教育 科目	美術史(近現代)1	2	TR			レポート		試験								
	美術史(近現代)2	2	TR				レポート		試験								
	コース 専門演習 T科目	染織演習Ⅳ	4	T	●	●			第1課題				第2課題				
コース 専門演習 S科目	卒業制作(全18日間) ※染日程を選択した場合	6	S	●	●	2日間		2日間		2日間		2日間	2日間		2日間		
4年目の修得単位数・内訳		24															

4年間の合計	127 単位 (うち S54 単位)	総合教育科目 : 49単位	コース専門演習T科目 : 16単位
		学部共通専門教育科目 : 38単位	コース専門演習S科目 : 24単位

注1：履修形態については本書p.6の「3. 学習を進めるにあたって」をご参照ください。

注2：●＝必修科目<必ず単位を修得することが求められる科目>

○＝選択必修科目<特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目や授業を選択して必ず単位を修得することが求められる科目>

空白＝選択科目<修得するかしないかを含め自由に選択できる科目。ただし卒業要件で定められた修得すべき単位数を最低限選択することが必要(例えば学部共通専門教育科目から20単位以上を修得すること等)>

注3：卒業制作に着手している学生は卒業関連科目以外を冬期(1月～3月)に履修することはできません。必ず秋期までに受講し合格してください。

TR科目については、第1課題合格後に単位修得試験を受験できます。そのため、12月の単位修得試験を受けるためには第1課題を10月度に提出し、合格する必要があります。

# 3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）[異分野] 年間学習モデル

下記表は、3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）が2年間で卒業すると仮定した場合の年間学習モデルです。全体として、卒業制作に集中できるように高年次になるに従い修得単位数を少なくするようお勧めします。履修計画を立てる際は、卒業要件と各科目の開講状況・履修条件等をご確認ください。卒業要件についてはお手元の「入学許可証・卒業要件通知」を、各科目の開講状況・履修条件等についてはシラバスの各科目のページを確認してください。なお、3年次編入学生（卒業要件62スクーリング日程は全て京都会場としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。

1年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目	ことばと表現	1	TR									レポート		試験				
	論述基礎	2	TR												レポート		試験	
	伝統芸術基礎(煎茶)	1	S					2日間										
	学芸基礎講義1	1	GS											GS				
学部共通 専門教育 科目	美術史(ヨーロッパ)1	2	TR						レポート		試験							
	美術史(ヨーロッパ)2	2	TR								レポート		試験					
	色彩表現基礎	2	TW				第1課題											
	造形基礎演習1	2	TW		●			第1課題										
	造形基礎演習2	2	TW		●							第1課題						
コース 専門演習 T科目	染織演習I-1	2	TW	●	●	第1課題	第2課題											
	染織演習I-2	2	TW	●	●			第1課題	第2課題									
	染織演習II-1	2	TW	●	●						第1課題	第2課題						
	染織演習II-2	2	TW	●	●									第1課題	第2課題			
	コース 専門演習 S科目	染織I-1	1	S	●	●		2日間										
		染織I-2	1	S	●	●			2日間									
		染織I-3	1	S	●	●					2日間							
		染織II-1	1	S	●	●		2日間										
		染織II-2	1	S	●	●				2日間								
		染織II-3	1	S	●	●					2日間							
		染織III-1	1	S	●	●						2日間						
		染織III-2	1	S	●	●							2日間					
		染織III-3	1	S	●	●								2日間				
染織IV-1		1	S	●	●						2日間							
染織IV-2	1	S	●	●							2日間							
染織IV-3	1	S	●	●								2日間						
1年目の修得単位数・内訳		35	※翌年度、卒業制作に着手するためには、着手要件を満たす必要があります															

2年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修 選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注3)			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部共通 専門教育 科目	美術史(アジア)2	2	TR						レポート		試験						卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。	
	日本文化論	2	TR				レポート		試験									
	立体造形演習1	2	TW				第1課題											
	著作権を学ぶ	1	S						2日間									
	学芸専門講義1	1	GS								GS							
	コース 専門演習 T科目	染織演習III-1	2	TW	●	●	第1課題	第2課題										
		染織演習III-2	2	TW	●	●			第1課題	第2課題								
		染織演習IV	4	TX	●	●	第1課題							第2課題				
		コース 専門演習 S科目	染織V-1	2	S	○	○		2日間	2日間								
	染織V-2		2	S	○	○				2日間×2								
染織V-7	1		S	○	○		2日間											
染織V-8	1		S	○	○						2日間							
卒業制作 ※染日程を選択した場合	6		S	●	●	2日間		2日間		2日間		2日間	2日間		2日間			
2年目の修得単位数・内訳		28																

2年間の合計	63 単位	総合教育科目 : 5単位	学部共通専門教育科目 : 18単位	コース専門演習T科目 : 16単位	コース専門演習S科目 : 24単位
--------	----------	--------------	-------------------	-------------------	-------------------

注1: 履修形態については本書p.6の「3. 学習を進めるにあたって」をご参照ください。

注2: ●=必修科目<必ず単位を修得することが求められる科目>

○=選択必修科目<特定の科目グループのなかから所定の条件に従って科目や授業を選択して必ず単位を修得することが求められる科目>

空白=選択科目<修得するかしないかを含め自由に選択できる科目。ただし卒業要件で定められた修得すべき単位数を最低限選択する事が必要。>

注3: 卒業制作に着手している学生は卒業関連科目以外を冬期(1月~3月)に履修することはできません。必ず秋期までに受講し合格してください。

TR科目については、第1課題合格後に単位修得試験を受験できます。そのため、12月の単位修得試験を受けるためには、第1課題を10月度に提出し合格する必要があります

# 10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、airUで提供される動画教材、参考作品などをもとに学習し作品を完成させます。完成した作品の実物を郵便・窓口、またはairU（一部科目）へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。

## 履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能です。ただし以下のように4年次の課題で一部に制約がありますのでご注意ください。

### <テキスト科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	備考
1年次 [2科目4課題]	なし	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
2年次 [2科目4課題]	1年次テキスト科目を全て合格済み	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
3年次 [2科目4課題]	2年次テキスト科目を全て合格済み	提出順序の制約なし 2科目同時提出可 (ただし、第1課題合格後、第2課題提出が望ましい)
4年次 [1科目2課題]	卒業制作着手要件を満たしていること	第1課題提出後、第2課題

## 単年度履修

1科目に2つの課題が設定されている科目は、どちらか1課題が合格しただけでは単位履修できません。また、テキスト科目においては、同一年度内にすべての課題に合格しなければ合格した課題が無効になり、次年度以降あらためて取り組まなくてはなりません。必ず年度内に2課題とも合格し、単位履修するようにしてください。

## 提出の受付について

### TW科目（1～3年次科目）の提出と返却

4月、5月、7月、8月、10月、11月、1月、2月の11日～20日【必着】※消印不可

- ・窓口提出は当日窓口受付時間まで
- ・返却は提出年度の翌月中旬（10日～18日前後）をめどに行います。

### 提出時の注意事項

- ・各提出期間の締切をわずかでも過ぎてしまった場合は、次の提出期間での受け付けとなりますので注意してください。
- ・複数の課題を同時に履修し提出する場合、1つにまとめて提出することはできません。課題毎に、各科目シラバス「課題提出方法」に定められた提出方法に従い、提出してください。

### ■染織演習Ⅳ (TX) の提出について

「染織演習Ⅳ (TX)」の提出期間は個別に設定されています。airUマイページからシラバスを確認してください。この科目には第1課題と第2課題があり、第1課題のみairU、もしくは郵送・窓口提出となっています。

#### airUから提出時の注意事項

まずairU学習ガイドでairUを利用した課題提出方法とその注意点を把握しておいてください。

- ・パソコンやインターネット等のトラブルも含め、課題提出時のトラブルにつきましては、原則、例外的な受付措置はできません。万が一、締切期限の間際にトラブルが生じた場合は質問専用メールアドレス（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）宛に締切当日の13:00までに具体的なトラブル内容を報告してください。トラブル内容を正確に把握するため、電話での連絡は受け付けていません。



# 11. 専門演習スクーリング科目 (S)

コース専門演習スクーリング科目とは、事前学習と2日間（2単位の科目は2日間×2回）の対面授業または遠隔授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。

## 履修の推奨順序と前提条件

### 1年次配当科目 2年次配当科目

基礎から応用へと順に進んでいくステップアップ方式になっています。可能な限り「染織Ⅰ-1～Ⅰ-3」を先に受講することが望ましく、カリキュラムは1年次科目→2年次科目→3年次科目の順で受講していただくことを想定しています。

また、以下の科目はまずデザインを考え、制作したデザイン・サンプルを用いて作品を仕上げる為、できるだけデザインする科目を先に受講するようにしてください。

「染織Ⅰ-2（藍色絞りの浴衣をデザインする）」受講後「染織Ⅰ-3（藍色絞りの浴衣を染める）」

「染織Ⅱ-2（織物の基本を知る）」受講後「染織Ⅱ-3（織物の構造を知る）」

「染織Ⅲ-2（型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする）」受講後「染織Ⅲ-3（型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める）」

なお、「染織Ⅰ-2」と「染織Ⅰ-3」、「染織Ⅱ-2」と「染織Ⅱ-3」、「染織Ⅲ-2」と「染織Ⅲ-3」は連続した内容のため、できるだけ同一年度に履修するようにしてください。

### 3年次配当科目

- ・履修の前提条件は下表<スクーリング科目の履修の前提条件>を参照。
- ・「染織Ⅴ-1～4」（各2単位）のなかから2科目、「染織Ⅴ-7・8・15」（各1単位）のなかから2科目を選択し履修してください。6単位上限の為、計画的に履修するようにしてください。詳細は4. 専門教育科目一覧（本書p.7）参照。
- ・卒業制作で織の着物に取り組む場合は「染織Ⅴ-4」「染織Ⅴ-15」を受講すること。

### 4年次配当科目

- ・「卒業制作/前期」は前年度までに「卒業制作着手要件」を、「卒業制作/後期」はスクーリング申込までに履修の前提条件を満たしておく必要があります（▶本書pp8～9参照）。
- ・「卒業制作」は染日程（染技法での制作）・織日程（織技法での制作）のいずれかを選択してください。なお、前期・後期とも同技法を選択してください。
- ・卒業制作の単位認定は、「卒業制作/前期」「卒業制作/後期」合わせて6単位一括認定となります（最終的には「染織演習Ⅳ」（4単位）と合わせて10単位一括認定となります）。

### <スクーリング科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	備考
1年次科目	なし	推奨の履修順 「染織Ⅰ-2」受講後「染織Ⅰ-3」 「染織Ⅱ-2」受講後「染織Ⅱ-3」 ※上記組み合わせは、同一年度内の受講が望ましい。
2年次科目	なし	推奨の履修順 「染織Ⅲ-2」受講後「染織Ⅲ-3」 ※上記組み合わせは、同一年度内の受講が望ましい。
3年次科目	スクーリング申込までに 「染織演習Ⅱ-1」合格済	「染織Ⅴ-1～4」（各2単位）のなかから2科目選択必修 「染織Ⅴ-7・8・15」（各1単位）のなかから2科目選択必修 ※卒業制作で織の着物に取り組む場合は「染織Ⅴ-4」「染織Ⅴ-15」を受講すること。

4年次科目 「卒業制作/前期」	昨年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること	「卒業制作」は染日程（染技法での制作）・織日程（織技法での制作）のいずれかを選択
「卒業制作/後期」	スクーリング申込までにp.8の「卒業制作/後半」の履修の前提条件を満たしていること	

## ①申し込みについて

### ●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページより申し込んでください。

受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。

（▶詳細は『学習ガイド』pp.55～56を参照）

### ●追加募集申込

定員に空きが無い場合は追加募集されません。必修科目など、受講予定の科目は必ず先行募集で申し込んでください。ただし、キャンセル等が出て定員に空きがでた場合に募集が再開されることもあります。追加募集の有無は、airUマイページで確認できます。

## ②スクーリングへ向けての準備

●スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。事前課題はシラバスの「課題」欄に記載されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、スクーリング初日、または指定されている日に持参してください。動画教材や参考資料がある科目もあります。尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、原則として単位認定の対象となりません。

### ●持参物・使用教材

スクーリング科目を受講する際、道具や教材を持参いただきます。各スクーリング科目のシラバス「受講にあたって」●持参物」に記載していますので受講日までに確認し、用意してください。

## ③遠隔授業について

遠隔授業では、大学等で対面による授業を受講するのではなく、Zoom（オンライン会議ソフトウェア）等を利用して自宅にて、リアルタイムで授業を受講します。事前課題や講義時間も、対面と同じで、授業内容は原則変わりません。

遠隔授業の場合も対面授業と同じく申し込みが必要です。受講許可者には、受講に必要なZoomのIDやパスワード等をお知らせしますので、スクーリング開講日に指定の場所へ入室すれば、授業を受講することができます。受講の際には、使用するパソコンのWebカメラ及びマイク、スピーカーが使用可能であることを確認しておいてください。安定した通信環境が望まれますので、有線LANでの接続を強く推奨します。

オンライン授業のためのZoomマニュアルについては、airU学習ガイド>5.Web利用>オンライン会議ソフトウェア「Zoom」を参照。

## ④スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。当日、やむを得ず欠席の場合は速やかに連絡をしてください。（▶『学習ガイド』pp.55～56を参照）

# 12. 染織コース学習道具の紹介

## 浸染用具セット



- |                        |      |                 |      |
|------------------------|------|-----------------|------|
| ①計量ポケットブルスケール          | 1個   | ⑨液体少量セット        | 1セット |
| ②染料ステンレススプーン 17cm      | 5本   | ⑩ステンレスタンク 24cm  | 1個   |
| ③染料ステンレススプーン 30cm      | 1本   | ⑪プラスチックトレイ      | 3個   |
| ④デスポカップ 300cc (5個)     | 1セット | ⑫ステンレスボール 18cm  | 3個   |
| ⑤デスポカップ 500cc (5個)     | 1セット | ⑬ステンレスボール 24cm  | 3個   |
| ⑥PPビーカーサンプリアカップ 500cc  | 3個   | ⑭スポイト・ポリ 10cc   | 1個   |
| ⑦PPビーカーサンプリアカップ 1000cc | 3個   | ⑮温度計「アルコール」100℃ | 1本   |
| ⑧手付きPPビーカー 2ℓ          | 1個   |                 |      |

※浸染用具セットの説明はairUの動画教材にてご確認ください。

## 画材紹介

テキスト科目課題作品やスクーリング事前課題制作、スクーリング持参物として必要です。

〈指定〉 使用や持参物として指定

〈推奨〉 使用を推奨 (別のメーカーのものを持っていれば使用できる)

〈参考〉 例として紹介 (別のメーカーのものを持っていれば使用できる)



ターナー ポスターカラー18色セット

テキスト科目

「染織演習Ⅱ-1」第2課題 使用〈推奨〉

「染織演習Ⅱ-2」第1課題 使用〈推奨〉

スクーリング科目

「染織Ⅲ-1」事前課題、  
持参物〈指定〉



ターナー アクリルガッシュ (色数自由)

テキスト科目

「染織演習Ⅱ-1」第1課題 使用〈推奨〉

「染織演習Ⅱ-1」第2課題 使用〈推奨〉

スクーリング科目

「染織Ⅲ-3」持参物〈推奨〉



平筆、面相筆

スクーリング科目

「染織Ⅲ-1」持参物〈参考〉

上から

平筆 ナイロン中里 SN666 No.8

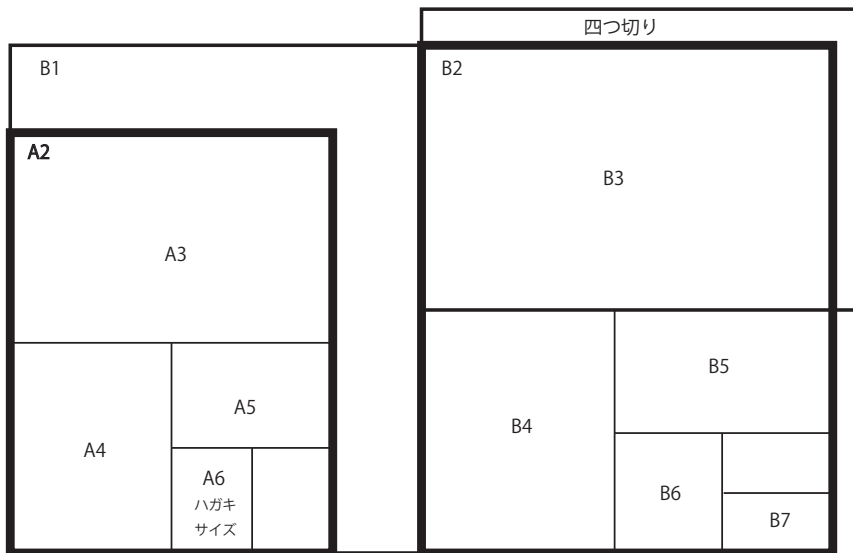
平筆 ナイロン中里 SN666 No.4

面相筆 ナイロン中里 SNR No.8

面相筆 ナイロン中里 SNR No.4

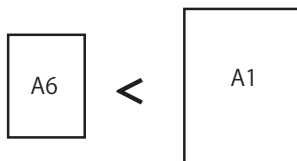
面相筆 紅葉小中里

紙サイズ参考資料



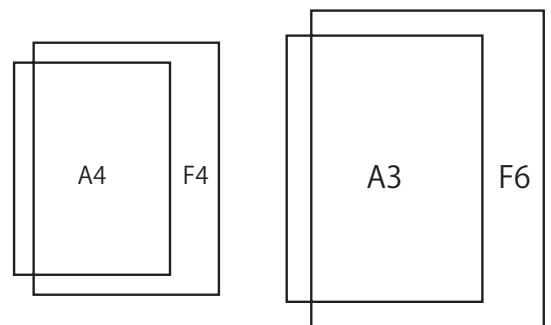
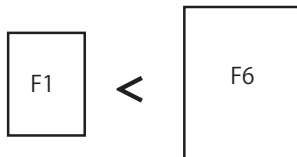
A・B規格

A6より  
A1の方が大きい



F規格

F1より  
F6のほうが大きい



\*Fサイズ：キャンバスや木枠、スケッチブックで使用されるサイズ

